

たちばな台・鴨志田町・寺家町の町内会・自治会 8 組織で構成された中里北部連合町内会は、地域住民の交流を深め、だれもが安心して暮らせる町づくりを推進します。



中里北部連合町内会 ニュース

第 82 号

発行責任者：中里北部連合町内会 会長 戸塚 昌行 発行日：2025 年 3 月 1 日



中里北部地区 地域福祉保健計画って？

青葉区地域福祉保健計画（通称：青葉かがやく生き生きプラン）と共に
青葉区内 15 連合自治会町内エリアの地区ごとに策定した計画です。



「誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくり」を目指していく計画です！中里北部地区に住んでいる私たち誰もが「主人公」となり、地域の皆さんと一緒に「お互いに支えあえるまち」を作っていくために、第 5 期（令和 8 年度～ 12 年度）に向けて、多くの皆さま（中学生～大人まで）にアンケートのご協力をいただきました。今回は第 4 期（令和 3 年度～ 7 年度）の計画をご紹介します。



5 年後にめざしたいまちの姿

あらゆる世代の交流がさかんに行われ、
さまざまな人の和が広がり、すべての住民が
地域の一員と sentir られるまち

目標 1 若い世代から高齢者まで地域で活躍できる 生き生きしたまちにしよう！

- 若い世代から高齢者まで、趣味や特技をいかして、地域で活躍できる機会をつくる
- お祭りやマラソン大会等の地域のイベントを継続し、世代間交流を進める
- 学校などとも協力しながら、「ちょこボラ」を推進し、地域活動に興味を持ってもらう
- 地域に関心をもてる機会を増やし、様々な世代に向けて、多様な手段で情報を発信する
- 大学と連携し、様々な地域活動を活性化させる

目標 2 それぞれの立場で、地域で過ごしている人をゆるやかに見守ろう！

- 近所で気軽にあいさつをし、お互いにもう一声かけられる地域にする
- 困っている人が気軽に相談できる場を多様な手段で PR する
- 認知症を理解し、認知症の講習会等を身近な場所で定期的に継続して行う
- 企業や団体、学校とも連携し、「気づきの和連絡会」などを通して、見守りの輪を広げる

目標 3 子どもが自分のまちをもっと愛せる地域にしよう！

- 子どもや子育て世代が安心して地域とつながる機会をつくる
- 地域と子どもたちが安心してあいさつできる取組を行う
- 学校と連携した活動や交流、HP など活用した情報交換を促進する
- 地域の行事やパトロールへの子どもの参加を推進するために、発信方法を工夫する



★ 3 つの目標を改めてみると、多くの皆さまがこの計画を知らなくても同じ思いで暮らしているのではないのでしょうか。これを機会に、ぜひこんな取り組みがあることを知っていただけると嬉しいです。

町内会活動は身近なボランティアです。災害時にも役立つ
活動にご協力お願いします。ご意見、ご要望はこちらまで



nakazatohokuburengou@gmail.com

ふれあいスポーツフェス 2024《10月6日(日)・於 鴨志田緑小学校》

今年は新たな試みとして、幅広い年代の方々に楽しんでもらえるように、『中里北部連合町内会運動会』から『ふれあいスポーツフェス』という名称に変更し開催しました。前日からの雨の影響でグラウンドでの開催は断念。体育館での短縮バージョンで行われました。小雨が降る中、ぞくぞくと参加者が来て、競技受付はあっという間に長蛇の列ができました。4つの競技が行われましたが、子ども達はじめ、大人の皆さんも楽しんでいただけたようでした。



幼児競技「お菓子をどうぞ」



今年から競技ごとにフェスリボンを配布



オープニングは鴨中吹奏楽部の演奏



「玉入れ」は子どもも大人も行いました



青葉区長も参加した「パン食い競争」は大盛り上がり！

子ども会役員、スポーツ推進員、青少年指導員、各町内会役員の皆様にもご協力いただき、無事に終えることができました。ありがとうございました。



ふれあいスポーツフェス・スポット

ピロティーでは、社会福祉法人グリーン「とうり」、ウチルカ、OHAYOGOZAIMASUCOFFEE、みちパンによる飲食の販売や、廣田新聞の骨密度診断コーナー、環境事業推進委員会の環境クイズコーナー、スライム作りのワークショップやフリーマーケットもあり、競技の合間に楽しみました。



環境推進委員によるクイズコーナー 干し野菜を使った商品は大人気



ウチルカコーナー



骨密度診断コーナー



応募された方のフリーマーケットも♡



ワークショップスライム屋さんも大盛況



第10回ふるさとマラソン大会 《12月8日(日)・於 鴨志田中学校》

今年で10回目を迎えたふるさとマラソン大会は過去最高の300名以上が参加しました。日体大学救急医療学科(救護)、日体大学サッカー部(ランナーの伴走)、桐蔭学園高校野球部(ランナーの応援と見守り)、金子石油「タスカル」(警備)、スポーツ推進員、青少年指導員、子ども会、各町内会、鴨志田中学校PTAなど、たくさんの方々に協力していただきました。天候にも恵まれ、盛況な大会になりました。



小学5,6年の部、元気にスタート!

第10回ふるさとマラソン大会 結果

小学3,4年	男子	1位	渡邊 楓
		2位	山本 春希
		3位	梶田 晃誠
小学3,4年	女子	1位	山口 みづき
		2位	湯浅 ひまり
		3位	中根 希海
小学5,6年	男子	1位	滝本 琉登
		2位	樋口 和哉
		3位	高橋 定睦
小学5,6年	女子	1位	小内 結菜
		2位	六浦 瑠花
		3位	山田 祐香
中学生	男子	1位	安藤 聡佑
		2位	増村 健
		3位	大塚 蒼和
中学生	女子	1位	岡安 玲奈
		2位	木下 詩
		3位	福西 紗綾
成人	男性	1位	鳥井 洸太郎
		2位	中根 奨貴
		3位	杉浦 敏宏
成人	女性	1位	太田 彩貴
		2位	櫻井 晴菜
		3位	山本 彰子



寺家の街を走ります



中学生男子と成人男子は4km走ります



中学生は部活動参加が多いです



ラストスパート!



日体大救命救急学科学生が待機



日体大サッカー部の伴走で走ります!



桐蔭高校野球部は警備を担当しました



『ありがとうの気持ち』

中里北部連合町内会 会長 戸塚 昌行

私は自分が幸せになるために働いています。私の好きな考え方に、幸せの四要素という考え方があります。どうしたら人は幸せに感じられるかに4つの大きな要素がある、という日本理化学工業の創業者のお話です。

1. 人に愛されること 2. 人にほめられること 3. 人の役に立つこと 4. 人に必要とされること

これらは働くことによって得られると教わりました。私は今、自分に仕事があることでとても幸せで、とても感謝をしています。常に恩返しをしているという気持ちで仕事ができていることはとても幸せなのです。

『感謝』の反対語を皆さんご存じですか? 『感謝』を別の言葉でいうと『ありがとうの気持ち』です。漢字で書くと『有り難い』となります。その反対語は『有り易い』、つまりあることが簡単、あって『当たり前』となります。『感謝』の反対語は『当たり前』という言葉なのです。朝起きて、朝ご飯があって、学校に行けて、仕事に行かれる。皆さんの中で当たり前になっていませんか。そうすると幸せに気づくことが難しくなってくるのです。そうです、感謝ができなくなるのです。皆さん、ぜひもっと幸せになってください。そのために一番近い方法は感謝の気持ちを持つこと、何事も当たり前にならないことであることを、ちょっとだけ覚えておいてください。

連合町内会の役員という一つの役割をいただいていることで私はとても幸せです。ありがとうございます。



ドッジボール大会 《7月14日 鴨志田第一小学校、9月8日 鴨志田緑小学校》



毎年鴨志田緑小と鴨志田第一小で2回行われます。白熱したプレーが繰り広げられました。



中里北部地域では、スポーツ推進委員と青少年指導員が協力し、さまざまな活動を行っています。子どもたちが楽しめるよう、工夫を凝らしながら頑張っています。ぜひ、積極的に行事に参加しましょう。また、大人向けにはボッチャの会も開催されています。

紙ひこうき大会 《1月19日 鴨志田第一小学校》

規定の紙ひこうきを自分で作って飛ばします。作成するときに工夫したり、遠くに飛ばす技を考えてみんなで競いました。



ウォークラリー 《11月10日》



寺家町を中心に地図を見ながらスタンプラリーをしました。今回のテーマは「不思議の国のアリス」♡



令和6年度まちの美化推進功労賞 中野貞子さんが表彰されました

中里北部地域で花壇の手入れや、小学校・中学校でお花の手入れの指導、小学校卒業生にサクラソウを贈るなど、長きにわたって、地域にお花を増やす活動をしている中野貞子さん（たちばな台在住）が令和6年度青葉まちの美化推進功労者として表彰されました。



青葉区の中島区長より表彰状が授与されました

鶴見川西岸遊歩道清掃 《10月27日（日）》

秋晴れの日、朝9時から自治会・町内会の会長および地域の方の協力で、鶴見川西岸遊歩道のゴミや、空き缶、ペットボトルなどのゴミの回収をしました。地域の美化運動を推進していきましょう！



「気づきの和」連絡会 鴨志田地域ケアプラザ

窓口 ☎045-961-6911

